

感染症発生動向調査情報(週報)

2014年31週(07月28日～08月03日)

山梨県内流行情報

29週にヘルパンギーナの県全体の報告数が警報レベル基準値の6.0を超えたため、警報レベルに入りました。今週も先週に引き続き報告数は減りましたが、終息基準値の2.0をまだ上回っているため、警報レベルが継続しています。咽頭結膜熱は、29週に中北保健所管内において警報レベルに入りましたが、今週は終息基準値である1.0を下回ったため、警報レベルは解除となりました。暑さにより抵抗力が低下し、こうした夏風邪のウイルスに感染しやすい季節ですので、手洗いうがいなどの一般的な予防対策を続けるとともに、十分な休養と栄養をとり、体調管理に気をつけましょう。また、発熱等の症状がある場合は、はやめに医療機関を受診しましょう。

[今週の警報]ヘルパンギーナ(県全体、中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内)

富士・東部管内流行情報

管内の定点あたりのヘルパンギーナ報告数は30週(12.6)から31週(9.6)と減少しましたが、県内で最も高い値となっております。引き続き、手洗いうがいを励行し感染予防に努めましょう。

定点報告の感染症

定点・・・定点あたり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	135	0.03	446	0.14	1880	0.6	3427	1.09	10728	3.41	2018	0.64
山梨県	-	-	-	-	18	0.75	15	0.63	59	2.46	5	0.21
中北	-	-	-	-	7	0.88	2	0.25	18	2.25	2	0.25
中北峡北	-	-	-	-	4	0.8	8	1.6	16	3.2	-	-
峡東	-	-	-	-	6	1.5	2	0.5	1	0.25	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.2	3	0.6	18	3.6	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3516	1.12	657	0.21	1937	0.62	48	0.02	13838	4.39	1063	0.34
山梨県	21	0.88	3	0.13	9	0.38	-	-	126	5.25	3	0.13
中北	4	0.5	-	-	3	0.38	-	-	42	5.25	-	-
中北峡北	2	0.4	1	0.2	2	0.4	-	-	23	4.6	1	0.2
峡東	5	1.25	-	-	3	0.75	-	-	12	3	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
富士・東部	10	2	2	0.4	1	0.2	-	-	48	9.6	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	19	0.03	475	0.69	12	0.03	25	0.05	111	0.24	2	0
山梨県	-	-	15	1.67	-	-	-	-	2	0.2	-	-
中北	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	11	5.5	-	-	-	-	-	-	-	-

山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	31週		30週		29週		28週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	横ばいです	流行しています	0.75	18	0.71	17	1.42	34	1.13	27
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	0.63	15	0.83	20	1.17	28	1.42	34
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.46	59	2.33	56	2.83	68	3.38	81
水痘	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.21	5	0.46	11	0.38	9	0.75	18
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.88	21	0.83	20	1.13	27	0.79	19
伝染性紅斑	やや増加しています	平年並みです	0.13	3	0.04	1	-	-	-	-
突発性発疹	増加しています	平年並みです	0.38	9	0.13	3	0.17	4	0.38	9
百日咳	-	-	-	-	-	-	0.04	1	-	-
ヘルパンギーナ	減少しています	流行しています	5.25	126	7.58	182	8.63	207	5.21	125
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.13	3	0.17	4	-	-	0.13	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	0.11	1	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	たいへん流行しています	1.67	15	1.11	10	0.67	6	0.22	2
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	0.1	1	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.2	2	-	-	-	-	0.1	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	76
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	女	79
二類感染症	結核	中北	男	65
二類感染症	結核	中北	男	79
二類感染症	結核	中北	女	95
二類感染症	結核	中北	男	83
二類感染症	結核	中北	女	82
四類感染症	レジオネラ症	中北	男	64